

国労

蘇我運輸区分会ニュース

2023千葉県憲法集会②

5月6日（土）13時半～ 千葉市民会館



講演：憲法と人権問題

講師：安田浩一さん（ジャーナリスト）

身近にあるヘイト社会
現在、朝鮮人蔑視によるいわゆるヘイトスピーチ、ヘイトデモは日常茶飯事に行なわれるようになっていきます。安田さんの調査では、一見ごくごく普通の生活をしているような会社員、学生、主婦らまでが、こうした

ヘイトクライム（差別、偏見を基にした敵対感情による憎悪犯罪）に関わっているとのことでした。こうしたヘイトスピーチなども本気なのか、遊びなのか分かり辛くなっているようですが、差別される側は非常に深い心の傷を負うわけで、絶対許されるべきことではありません。小学生など幼い子供たちまで、容赦なくその標的にされる事実、怒りをかかせません。

この日の講演の中では、次から次へとヘイトクライムの実例が紹介

*差別だらけの日本

され、そのおぞましさは正直、耳をふさぎ、目を覆いたくなったほどです。恐怖を感じました。差別を作り続ける日本社会、何故？
国内には、朝鮮人差別だけではなく、アジア諸国の人たちへの差別、特に希望を持って来日し

た技能実習生が奴隷のごとくこき使われる実態他にも慰安婦問題、沖縄平和運動、部落解放運動、貧困・生活



保護者、障害者等々にも強烈な攻撃が加えられています。また様々な事象によって慰霊碑が作られ、慰霊祭が行なわれている最中にも慰霊碑に火をつけたり、ヘイトデモで乱入したり、とてもまともな神経とは思えません。厳格な法律で取り締まるべきですが、何と政

府自民党、マスメディアまでが間接的に関わっている実態も、安田さんが徹底的に取材し、分析した結果からの報告がありました。日本人として本当に残念です。勿論それであきらめられる問題ではなく、もっと積極的に差別・偏見に向きあわなければならぬと改めて痛感しました。

娯楽に近い？

恐怖のネット差別

話は少し変わりますが、先日あるプロ野球戦で、男性が近くの子供からホームランボールを奪い？誇らしげにツイッター上に投稿したら、その行為に批判の火がつき、あっという間に大炎上し、誹謗中傷、挙句の果ては個人名や住所、会社名、家族の写真までがさらされるというとんでもない事件（もはや事象ではない）が発生しました。実際、ボールを奪ったわけではなく、自分の席から移動して取ったらしく、その行為自体はモラル違反で批判されてもしかたありませんが、これはどう考えてもやり過ぎです。どういう気持ちでここまで攻撃が出来るのでしょうか？責任を問われないネット上で、面白半分に大勢が群がってしまったとしか思えません。

過去には、やはりネットによる誹謗中傷で女子プロレスラーが自殺に追い込まれています。

罪の意識もあまり感じることなく、気軽な気持ちで参加出来るしまうネット差別、一刻も早く、法による規制化、罰則化が必要です。

勿論、自分たちも正しい情報で行動するよう、仲間や家族らと話し合う場も設けたいものです。

☆ 悪意のない差別・・・若い女性に当たり前のように言っていた「早く結婚して、たくさん赤ちゃんを産んでね」現在 NG です。